

# 地方財政と住民参加

名前 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

現代社会      憲法      **政治**      経済      国際社会      これから

今日の問い

地方公共団体はどうやってお金を集め、地域の課題にどう向き合うのだろう。  
下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 地方財政

地方税・国の補助

2 住民税など、地方公共団体が集める税。

3 地域の財源の差を小さくするために国が配るお金。

4 使い道を決めて国が出す補助金。

5 地方公共団体の借金。

地方公共団体は、学校やごみ処理、道路、福祉など住民の暮らしにかかわる仕事を行い、そのための収入と支出を <sup>1</sup> \_\_\_\_\_ という。収入の中心は、住民税などの <sup>2</sup> \_\_\_\_\_ である。しかし地域によって税収には大きな差があり、地方税だけでは仕事を行えない地方公共団体も多い。  
そこで国が、地方公共団体の間の財源の差を小さくするために <sup>3</sup> \_\_\_\_\_ を配る。使い道は地方公共団体が自由に決められる。また、教育や道路などの特定の仕事のために、使い道を決めて国が出す補助金が <sup>4</sup> \_\_\_\_\_ である。さらに、足りないお金は債券を発行して借りる。これが <sup>5</sup> \_\_\_\_\_ で、将来返さなければならない。地方税のように自分たちで集められる収入を <sup>6</sup> \_\_\_\_\_、国からのお金や地方債などを依存財源という。

| 種類       | 国との関係   | 使い道     |
|----------|---------|---------|
| 地方交付税交付金 | 国が配る    | 自由      |
| 国庫支出金    | 国が出す補助金 | 決められている |
| 地方債      | 借金      | 返す義務がある |

2 住民参加と地域の課題

まちづくり

8 人口が大きく減り、地域の活力が落ちること。

9 複数の市町村が1つになること。

11 役所がもつ情報を、住民が見られる制度。

地方公共団体は、人口の減少や <sup>7</sup> \_\_\_\_\_、財政の不足といった課題をかかえている。人口が減る地域では <sup>8</sup> \_\_\_\_\_ が進み、学校や病院、バスなどの維持がむずかしくなる。財政を効率よくするために、1999年ごろから2000年代にかけて、<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ が進められ、市町村の数は大きく減った。2000年には <sup>10</sup> \_\_\_\_\_ を進める法律が施行され、国と地方は対等な関係とされ、権限の一部が地方に移された。  
課題を解決するには、住民の参加が欠かせない。<sup>11</sup> \_\_\_\_\_ で役所の情報を知ったり、役所の案に意見を寄せる <sup>12</sup> \_\_\_\_\_ に参加したりできる。また、<sup>13</sup> \_\_\_\_\_ やボランティアが、福祉や防災、まちづくりなどで活躍している。住民が自分たちの地域の将来を考え、行動することが大切である。

できた  / 13